

探して自慢しよう！十日町市のだいじなもの
ダイジナープロジェクト
に参加しませんか？



<http://www.daizinger.jp>

ダイジナーブログメンバー募集

Web ダイジナーとダイジナーブログ
を使って十日町市
のだいじんがあ
(地域の宝)を世界
へ自慢しませんか？
→キョロロまで



**ダイジナーを使って地域を学ぶ
総合学習をしてみませんか？**

【学校の先生方へ】
ダイジナーを使っ
て、地域を学ぶ総合学
習をしてみませんか？
→キョロロまで



**キョロロのだいじんあ調査活動
参加者募集**

キョロロでは、地元団体と
共催で、自然系だいじんがあ
(野鳥、植物、昆虫)の調査
活動を行っています。
ご一緒にどうですか？
→キョロロまで



**ダイジナーを使って地域づくり
活動を進めてみませんか？**

ダイジナーを使って、
地域活性化マップづくり
などの地域づくり活動を
してみませんか？
→キョロロまで



だいじんあ情報募集

お家に眠っているお宝、珍しい生き
物の写真・実物などだいじんがあに関
する情報・実物お待ちしております。
→キョロロまで
*ただし、実物の場合、お預か
りできない場合があります。



情報の送り先・お問い合わせ先
〒942-1411 新潟県十日町市松之山松口 712-2
十日町市立里山科学館 **キョロロ**
越後松之山「森の学校」
TEL. 025-595-8311 / FAX. 025-595-8320
E-MAIL. kyororo@dolphin.ocn.ne.jp
URL. <http://www.matsunoyama.com/kyororo/>

制作・制作支援したホームページ・ブログ

Web ダイジナー (<http://www.daizinger.jp>)
*ダイジナーブログメンバーのブログは↑ここから見に行けます。
十日町市松之山・浦田地域ポータルサイト (<http://www.matsunoyama.com>)
十日町市観光協会 (<http://www.tokamachishikankou.jp>)
キョロロ (<http://www.matsunoyama.com/kyororo>)

**アクセス&リンク
お願いします！**



研究開発チーム

十日町市立里山科学館 越後松之山「森の学校」キョロロ / 独立行政法人 農業・食品産業技術総合研究機構 農村工学研究所 /
国立大学法人 長岡技術科学大学 / 株式会社イマジックデザイン / 株式会社オスボック / 株式会社イディアガーデン

本研究は、総務省戦略的情報通信研究開発推進制度 (SCOPE) の支援 (2006.4～2009.3) により行われました。

【研究課題名：住民参加型地域振興のためのユビキタスフィールドナビゲーションシステムの開発】

編著：永野昌博・三上光一・相澤堅・山本徳司・安中誠司・唐崎卓也・中平勝子 / イラスト：豊崎観自 / アカショウビンの写真：芦田久

ICTを活用して

探して自慢しよう！十日町市のだいじなもの
ダイジナープロジェクト



十日町市立里山科学館
越後松之山「森の学校」
キョロロ。

ダイジンガープロジェクトとは？

「だいじんがあ」とは？

「だいじなもの」、「宝物」という意味の十日町市地域の方言で、本プロジェクトでは、「十日町市の宝物」という意味で使っています*。

では、みなさんの「だいじんがあ」は何でしょうか？ 大きなクワガタだったり、集落のお祭りだったりそれぞれ思い浮かべるだいじんがあは違うでしょう。それらは、どれも小さなだいじんがあかもしれませんが、みなさん一人一人が「だいじんがあ」を持ち合い、自慢し合い、磨き合えば、だいじんがあは光り輝き、十日町市はもっともっと魅力溢れる楽しいまちへと発展していくはずです。だいじんがあは、そんなとてつもない力をもっているのです！

ダイジンガープロジェクトの流れと目的（下から上に読んでね）

⑤目的

だいじんがあを市民ひとりひとりが探し、自慢し、磨き合い、「十日町市の新たな魅力を生み・育てること」、「市民主体による新たな地域づくり活動の推進」を目指す。



④検証

活用プログラムの成果と課題を検証し、ICTを使った地域づくりのモデルをつくる。



合体!

③活用プログラムの企画と実践

ダイジンガーICTを使った地域づくり活動、小中学校の総合学習、博物館の研究、産業活性化活動などを企画し、市民と共にそれらを実践。



②ダイジンガーICTの開発

地元ニーズの分析をもとに十日町市の地域づくりに役立つオリジナルのICT(ダイジンガーICT)を開発。



①地元ニーズの分析

十日町市には、どんな地域づくりが必要？
どんなICTが必要？を分析。



*ひらがなの「だいじんがあ」は「十日町市のだいじなもの」という意味で使っています。
カタカナの「ダイジンガー」は「本プロジェクトやICTに関係する」用語に限って使っています。

ダイジンガーICTのラインナップ

と活用プログラム



ワークショップ ダイジンガー
Workshop-Daizinger (WS-D)

市民が協同して地域を調べ、地域づくり計画などを考えたりする学習や研究のための高度なGIS機能、データベース機能を搭載したハイスペックGISです。



ウェブ ダイジンガー
Web-Daizinger
(Web-D)

十日町市を誇りとする有志のブログを1つのGIS上で融合させたインターネット対応の住民参加型Web-GISです。



ワークショップ アールエフアイディ
Workshop-RFID(WS-RFID)

RFID(非接触通信型電子チップ)を活用し、ワークショップや地域学習での興味・関心を持続的に高めるためのアプリケーションです。

エコ モニタリング システム
Eco Monitoring System (Eco-Moni)

無線LANでセンサーカメラ、気象計などを繋ぎ、野生生物の生態などをライブで観測、即時データベース化できるサーバーサイドアプリケーションです。



ワークショップ・ダイジンガー Workshop Daizinger (WS-D)



GIS（地図と連動した情報管理システム）って難しそうって思いませんか？ 実際、多くのGISは複雑な操作方法を知らないと使うことができません。

でも、そんなGISでは、いくら役に立つと分かっていたって、その前にうんざりですよ。そこで、とっても簡単に操作ができるGISを開発しました。操作は簡単でも、機能は高性能！直感的なデータベースも専門的なデータベースも思いのままにつくれます。検索方法や表示方法も色々あるので、お目当てのだいじんがあをきっと見つけられるでしょう。

小中学生の地域学習、集落活動での地域づくりワークショップ、博物館の研究活動などいろいろな場面に対応できます。これからの市民協同による地域づくりを目指したGISです。



エコ・モニタリング・システム Eco Monitoring System(Eco-Moni)

無線 LAN でセンサーカメラや気象計などを繋ぎ、地域の環境情報や野生動物などをライブで観測するためのシステムです。集めた画像を簡単に映像化したり、データベース化したりするアプリケーションも開発しました。



地域学習や博物館活動をもっと楽しくクリエイティブなものに変えていきます。

<http://www.matsunoyama.com/kyororo> (キヨロロのH.P.)



高解像度航空写真だから、車も田んぼの形もはっきりとわかるぞ。



高速3次元ビジュアライザーで立体的に十日町市を見ることができるぞ。



条件の重ね合わせ検索を使えば、気がつかないかもしれないじんがあスポットを発見できるぞ！



データリストや道路マップを使えば知りたい情報も簡単に見つかるぞ。



他のデータベースとの連動や専門的なデータベースもつくれるぞ。



オリジナルのデータベースカテゴリの作成も自由自在。

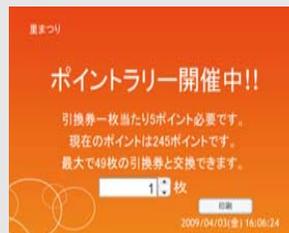


単純カテゴリ検索から複雑な検索まで、いくつもの検索方法を用意。



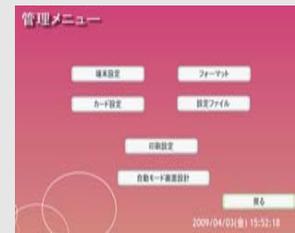
地図の拡大・移動・方位も簡単操作ボタンで楽々。

ワークショップ RFID Workshop RFID(WS-RFID)



RFIDとは、超小型電子チップによる無線通信システムのことです。

RFIDに地域通貨やポイントカードの機能を自由に付加させるツールを開発しました。これらをワークショップや地域学習と連動させて、地域活性化に役立てていきます。





ウェブ・ダイジンガー Web Daizinger (Web-D)



「個人の思い思いのだいじんがぁをインターネット上で自慢し合い、それがいつのまにか市民共有のだいじんがぁデータベースとしてまとまっていく」なんてICTがあつたらいいと思いませんか？

そんな'あつたらいいな'を形にしました。

ダイジンガーブログというからくりが仕込まれたブログを使えば、個人(自分)のブログに投稿した情報を、十日町市民共有の『だいじんがぁマップ』にも発信することができるのです！ それらが集まることで『だいじんがぁマップ』はいつも賑わい、いつのまにか世界に1つだけの地域資源データベースへ進化していくのです。 <http://www.daizinger.jp>へアクセスしてみてください。



ダイジンガーブログメンバーには1人(1団体)1つのブログがもらえます。このブログは、右上の2箇条以外は、自由に使ってもらって構いません。➔

ダイジンガーブログメンバー



都市・農村の交流
「創ろう!自分の田舎とおかまち!」事務局による農村生活日記や都市と農村の交流活動を日々更新。



生物・文化情報の発信
「キョロロ通信」では、市内の生き物を中心に地域のおもしろトピックを日々発信しています。



総合学習の成果発表
総合学習の時間で調べた身の回りのだいじんがぁを子どもたちが発信。



研究活動の共有
十日町市と市民が協同で進める「雪・森・農プロジェクト」における研究成果やイベント活動等を発信。

ブログとGISを融合させたハイブリッドWeb-GIS誕生!

Webダイジンガーは、個人の「ブログ」と「Webマップ (Web-GIS)」を融合させたハイブリッドWeb-GISです。

「ブログ」は、今、流行りのブログの機能とほぼ同じですが、違う点が2つあります。

1. 十日町市のだいじんがぁを誰かに伝えたいと思っていること。
2. だいじんがぁ情報の発信位置とカテゴリを登録すること。です。

ダイジンガーブログに登録された情報は、自動的に『Webダイジンガーマップ』にリンクアイコンが貼られます。つまり、『Webダイジンガーマップ』は、いつもあるダイジンガーブログの情報を1つの地図上でまとめて紹介する十日町市全域のポータルサイトの役目を果たしているのです。

この仕組みにより、『Webダイジンガーマップ』では、広い十日町市の隅々から色々な情報が集められ、目指している「市民協同によるだいじんがぁデータベースづくり」へ大きな一歩を踏み出すことができました。また、『ダイジンガーブログ』を運営している個人(団体)も、登録した情報が十日町市全体の地域資源データベースづくり、魅力づくりへ繋がっていることに誇りを感じてもらってます。このように『Webダイジンガーマップ』と『ダイジンガーブログ』はシステムだけでなく、思想や目標においてもお互い支え合い、励まし合っているのです。



地図検索はもちろん、キーワード、カテゴリ、ブログなど検索機能も充実。



地図にはGoogle Mapを使っているので、移動、拡大・縮小などの地図操作も思いのまま。



登録された情報は、データベースツールを使って大切に保管。また、この機能でWS-Dとも連動。

➔ その代わりに、ブログのデザイン、運営、責任等も全てブログメンバー個人にお任せしています。

*メンバーになりたい方は、裏表紙をご覧ください。



観光情報の発信
十日町市観光協会が市内の旬の観光情報、イベント情報などを発信。ミス雪祭りブログなども併設しています。



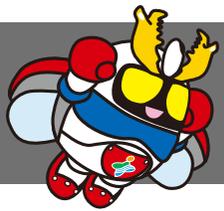
ローカル情報の発信
松之山温泉組合員の協同ブログ。松之山温泉街を中心とした松之山地域限定のローカル情報を日々更新。



季節情報の発信
人気の観光スポット「美人林(ブナ林)」の四季の移り変わりをタイムリーに発信。ライブカメラとも連動。



個人の写真日記
地元在住の写真家による地域情報の発信。日々の生活の中にあるだいじんがぁが盛り沢山。



実践プログラム



どんなに高性能なICTも使わなければ、宝の持ち腐れですよ。そこで、ダイジングプロジェクトでは、ICTの技術的な研究だけでなく、開発したICTの実践プログラム(利活用方法)の研究も一緒に進めています。

実践プログラムの目的は、ダイジングプロジェクトの目的と同じで『だいいんがあを市民ひとりひとりが探し、自慢し、磨き合い、「十日町市の新たな魅力を生み・育てること」、「市民主体による新たな地域づくり活動の推進』です。

実践プログラムは、「市民協同博物館づくり」、「小中学校の総合学習」、「市民主体の地域づくり」の3つを柱として進めてきました。



「市民協同博物館づくり」では、

- ・WS-D と Web-D を使った「地域の生物相・文化財調査」
 - ・WS-D と Web-D を使った「地域資源データベースづくり」→p9 参照
 - ・WS-D と Web-D を使った「博物館の展示」
 - ・WS-D を使った「自然観察マップづくりワークショップ」
 - ・Eco-Moni を使った「環境モニタリング調査」
 - ・Ecom-Moni を使った「動物の行動観察」
- などの実践プログラムを地元の自然愛好家の方々と十日町市立里山科学館「森の学校」キョロロが協働して実践しました。



「小中学校の総合学習」では、

- ・WS-D と Web-D を使った「地域調べ学習」→p10
 - ・WS-D を使った「学習発表会」
 - ・Eco-Moni を使った「哺乳類の生態調査」
 - ・WS-RFID を使った「自然観察オリエンテーリング」
 - ・WS-RFID を使った「クイズ大会」
- などの実践プログラムを小学校教諭または公民館職員と共に計画を立て、実践しました。



「市民主体の地域づくり」では、

- ・WS-D と Web-D を使った「地域資源データベースづくり」
 - ・Web-D を使った「地域ポータルサイトの構築と運営」
 - ・Web-D を使った「観光ブログの構築と運営」
 - ・WS-D を使った「観光資源マップづくりワークショップ」→p11
 - ・WS-D を使った「地域産業活性化計画づくりワークショップ」→p11
 - ・Eco-Moni を使った「観光地のライブ情報の発信」
- などの実践プログラムを観光業や産業に関わる方々と共に計画を立て、実践しました。

だいいんがあデータベースづくり

「十日町市の地域資源(だいいんがあ)データベース」=「十日町市全史」の構築は、ダイジングプロジェクトの大きな目標の1つです。

しかし、松之山地域の昆虫相1つにしたって全体の10%も分かっていない状況です。それが、哺乳類、鳥類・・・、有形文化財、無形文化財・・・といった感じで数十もの地域資源単位があり、その上、市町村合併で十日町市の面積は590km²にも広がりました。これだけ多様で広範囲な地域資源を行政や一市民だけの力だけで収集・整理するのは不可能といえるでしょう。

しかし、地域づくり計画を立てる場面や郷土愛を育む場面などにおいて、それらの基盤となる地域資源データベースの存在はとても重要で、不可能だからと諦めていいものではありません。

ICTと大勢の市民の力が1つになれば、それは可能となるかもしれません。

ダイジングプロジェクトでは、十日町市を研究・展示する十日町市立里山科学館「森の学校」キョロロを核として、キョロロを支えている市民、十日町市を愛している市民と協同して、この無謀な挑戦をはじめました。

一緒に「だいいんがあ」を探しませんか？



WS-D を使ったワークショップの情報も、Web-D を使った総合学習の情報もこの地域資源データベースづくりに繋がっています。

また、キョロロでは市民の方々と共に地域資源データベースをつくる(自然史の解明)とい

う目的で植物や昆虫の調査を行い、その調査成果は、デジタルデータだけでなく展示物や実物標本としても大切に展示・保管するなど、博物館ならではの総合的な地域資源データベースづくりを市民と共に楽しみながら行っています。

地域学習プログラム

ダイジナープロジェクトでは、子どもたちが自ら地域を調べ、学ぶことにより地域にもっと誇りと愛着をもってもらうこと、そして、そこから地域の未来を創造してもらうことを願っています。

地域学習プログラムの一例

1. 地域のだいじんがあって何だろう？



地域のだいじんがあを探し、考え、伝えることの意義を子どもたちに説明し、子どもたちに、'どんなものがだいじんがあなのか' 考えてもらいます。また、保護者や地域の方々にアンケートすることで、子どもたちのだいじんがあへの関心も高まり、地域住民と一体となった地域学習へ発展してきます。

3. だいじんがあを GIS に登録しよう！



発見しただいじんがあを魅せるタイトルと紹介文を考えます。それらと写真を GIS (WS-D もしくは Web-D) へ登録し、世界で一つだけのだいじんがあマップをつくっていきます。登録された情報は共有化されるため、その場でお友達のだいじんがあも見ることが出来ます。

地域に眠るだいじんがあを ICT を使い、子ども、教員、地域が一丸となって探し、磨き上げることで、地域の過去・現在・未来は光り輝くものになっていくでしょう！

2. だいじんがあを探しに出かけよう！



カメラと地図を持って、地域にだいじんがあを探しに行きます。だいじんがあを写真で撮り、見つけた場所を地図に記録していきます。人とのふれあひもだいじんがあ。道で出会った地域の方にも取材したりして、地域の隠れただいじんがあを探していきます。

4. みんなにだいじんがあを紹介しよう！



だいじんがあマップが完成したら、学校のお友達に伝えるのはもちろん、文化祭などで地域の方々にも伝えましょう。きっとみんな喜んでくれるはず。

Web-D なら、授業終了後も、だいじんがあマップをどんどん膨らましていくこともできます。

ICT の使い方や授業の組み立て方によって、地域学習や情報教育だけでなく、環境教育、理科、社会、国語などいろいろなカリキュラムへ応用できます。



地域づくりワークショップ

「地域づくり」って何をすればいいのでしょうか？ 難しい問題です。目的や方法もたくさんありますし、これが正解という答えもありません。

ただ一つははっきり言えることは、これからの地域づくりは、偉い先生や行政だけに任せっきりでなく、そこに暮らす市民一人一人が主体

的になり、力を合わせて進めていくことが大切ということです。

ダイジナープロジェクトでは、ICT の活用、市民との協同により、効果的に市民の「知」を共有化し、地域ビジョンを描くワークショップ (実践プログラム) を実施しています。

A. テーマと調査地を決めます。

例えば、「〇〇地区のアートと自然を巡る観光コースをつくりたい」や「〇〇集落の放棄水田をビオトープにつくり変えたい」などの市民の熱い願いをテーマとし、そのテーマに適した調査地を決めます。

B. 新たな参加者の募集、参加者への趣旨・内容説明。

C. 現地調査

カメラ、GPS、地図などの道具を持ち、地域を歩きながら、目についたものをカメラで撮影します。(テーマに合ったものだけを撮影するのか、無作為に撮影するのかなど、あらかじめいくつかのルール決めておきます)

D. 地域資源マップを作成します。

撮影した写真をプリントアウトし、それにコメントや感想などを書き込んで、それをチーム共有の大きな地図に貼り付けます。(この時、どの写真を地図に貼るかを定めるための、「だいじんがあランク」付けや「だいじんがあカテゴリーズ」したりすると効果的です)

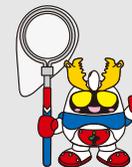
E. 地域づくりマップ (計画) を作成します。

地域資源マップにはたくさんの写真が貼られているはずです。それらの写真を見比べながら、チーム内でテーマに沿って写真を選抜していきます。(観光マップをつくる時は、写真の選抜後に、選抜写真をめぐるルートを描くのもいいでしょう) 最後にマップやルートなどにオリジナルの名前を付けます。

F. 発表会

複数のチームがある場合は、完成した地域づくりマップをお互いに発表し合います。(1つのマップにしなくてはならない時は、各チームのマップを選抜したり、各マップの素材からEのやり方で1つのマップをつくります)

ダイジナープロジェクトで支援できる範囲は上記A~Fまでです。ここからは、計画を実行に移すための具体的なプロセスを決め、挑戦と失敗を繰り返しながら描いた計画を実現させていきます。



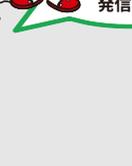
だいじんがあ探検中



地域づくりマップ作成中



地域づくりマップの発表



WS-D を使った活動成果発表